

第15回日本加速器学会総会

式次第

1. 広報・ウェブ幹事報告
2. 編集幹事報告
3. 行事幹事報告
4. 会計幹事報告
5. 庶務幹事報告



広報ウェブ委員

広報幹事: 田中俊成(日大)

菊澤信宏(原子力機構J-PARC)、佐藤政則(KEK)、古川和朗(KEK)、
宮本篤(東芝株)、柳田謙一(SPring-8)、紀井俊輝(京大)

活動内容

○通常活動

公募・国内外会議のウェブページについて随時更新を行っている。

○学会ウェブサーバ移転の準備

本年度中に学会ウェブページを三美印刷(株)のサーバに移転する予定。
ページの体裁も、更新のため検討中。

○紙媒体プロシーディングスPDF化

目次・著者索引用データ作成を学生アルバイトに依頼してほぼ終了した。

○年会プロシーディングス

- ・第14回年会プロシーディングスの編集作業について発表者に協力依頼。
- ・6/16までに46名から協力の承諾。
- ・年会中に編集作業説明会を開催(8/2昼休み)。
- ・編集作業を円滑に進めるため、専用のCGIを作成、ウェブアクセスにより作業。
- ・年会終了後、速やかに編集作業開始を予定。

○「社会に役立つ加速器」をアピールするウェブの取り組み

- ・学会誌12巻4号特集記事の抄録(一般向け)を、サーバ移転後ウェブ上で公開する予定。
- ・第13回年会の特別講演「粒子線治療の過去、現在、未来」のビデオ公開準備中。録画の編集は終了、スライド挿入等残作業あり。上映時間20分程度。
- ・第14回年会特別講演の撮影を行う。
- ・今後も一般向けウェブ・アーカイブの充実に取り組む予定。

編集幹事報告(1/2)



編集委員

委員長: 栗木雅夫(広島大)

伊藤正俊(東北大サイクロ)、大熊春夫(JASRI)、帯名崇(KEK)、
加瀬昌之(理研)、川瀬啓悟(広大)、設楽哲夫(KEK)、
末次祐介(KEK)、田中俊成(日大)、中山光一(東芝)、
内藤富士雄(KEK)、長谷川和男(JAEA)、保坂将人(名古屋大)、
依田哲彦(阪大)、涌井崇(放医研)

今後の発行予定

- 第14巻第3号(2017.10.30) 原稿締切8.30
- 第14巻第4号(2018.1.30) 原稿締切11.30
- 第15巻第1号(2018.4.30) 原稿締切2.28
- 第15巻第2号(2018.7.30) 原稿締切5.30

学会誌での特集企画

14巻4号での特集は「新たな巨大科学の挑戦、国際リニアコライダー(ILC)」(仮)となった。

行事幹事報告(1/6)



行事委員

行事幹事	: 中村剛(行事幹事/JASRI)
広報幹事	: 田中俊成(広報幹事/日大)
年会ウェブページ担当	: 佐藤政則(広報委員が兼務、KEK)
<u>年会ウェブページ担当</u>	: <u>紀井俊輝(京大)</u>
アブストラクト・論文集担当	: 菊澤信宏(広報委員が兼務、JAEA)
ポスター会場・企業展示担当	: 池沢英二(理研)
<u>ポスター会場・企業展示担当</u>	: <u>仲井浩孝(KEK)</u>
プログラム担当	: 野田悦夫(放医研)
<u>プログラム担当</u>	: <u>黒田隆之助(産総研)</u>
組織委員長	: 古坂道弘(北大)
前回年会 組織委員長	: 野田耕司(放医研)
プログラム委員長	: 岩下芳久(京大/北大招へい教員)
前回プログラム委員長	: 北川敦志(放医研)
前回実行委員長	: 白井敏之(放医研)
前行事幹事	: 花木博文(JASRI)

担当をもつ委員のうち、下線の委員は、本年度の新委員であり、この年会で直上の現担当から引き継ぎを行っており、来年の年会から本担当となる。

行事幹事報告(2/6)



第14回日本加速器学会年会 開催状況報告

事前登録 参加申込 : 480名(一般会員: 338名、一般非会員(企業展示含む): 83名、学生会員: 16名、学生非会員: 41名)

懇親会参加者 : 301名

研究発表 口頭発表 : 67件
ポスター発表 : 286件 (革新的加速器技術の提案36件、施設報告6件)
施設現状報告ポスター: 36件
年会賞応募 : 43件 (口頭: 12件、ポスター: 31件)

講演 特別講演: 「え! 陽子線がん治療も日本刀も電池も...秘密がわかる?
—小型・大型加速器で中性子を作って使ってできること—」
学会賞受賞講演 : 1件 (奨励賞)
技術研修会 : 「ビーム計測・ビーム制御」 三橋利行(KEK)

展示・広告 企業展示 : 56小間 (賛助会員: 30件、一般: 26件)
予稿集広告 : 7社(減少傾向)

その他

行事幹事報告(3/6)



合同セッション4件

3件のテーマはプログラム委員会で決定

LHC, 重力波検出、超伝導空洞の表面処理

1件を、発表申込から選定

口頭発表

カテゴリーへの割当はへの発表申込数に比例を原則

ポスター

コアタイムを設定

イベント業者への業務委託を増やす方向で検討する

第15回 日本加速器学会年会 開催概要

- 共催： 長岡技術科学大学
- 後援： 未定
- 会期： 2018年 8月 8日(火) ～ 10日(木)
- 会場： ハイブ長岡(新潟県長岡市)
- 見学： 大学内パルスパワー発生装置 (ETIGO-II, III, IV 等) を予定、
原発も候補
- 実施体制

組織委員長	江 偉華 (長岡技術科学大学)
プログラム委員長	古川 和朗 (高エネルギー加速器研究機構)
実行委員長	菊池 崇志 (長岡技術科学大学)

行事幹事報告(5/6)



第16回 日本加速器学会年会 開催概要

- 共催： 京都大学、QST関西光科学研究所
- 後援： 未定
- 会期： 2019年 8月1日(木) ~ 3日(土)
- 会場： 京都大学吉田キャンパス内を予定(京都駅からバス等で30-40分)
- 見学： 2019年 7月31日(水)
宇治キャンパス、QST関西(奈良近郊)、京大原子炉実験所(大阪府熊取)を予定
- 実施体制：

組織委員長	大垣 英明(京都大学)
プログラム委員長	神門 正城(QST関西)
実行委員長	岩下 芳久(京都大学)

加速器学会年会の運営について

プロシーディングス提出期限の厳守にご協力を

- プロシーディングス編集作業を、期限後速やかに開始できる体制を検討したい。
- 提出期限は年会開始一週間前であるが、期限後も引き続き提出は受け付けており、最終締切日(閉会式でアナウンス)までに提出いただきたい。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます

会計幹事報告(1/9)

2016年度日本加速器学会決算報告

収入の部

科 目	細 目	前期実績	当期予算案	当期実績
会費収入		7,852,000	8,238,000	8,186,000
正会員	(158件+前年度前受金636件) × 6,000円	4,692,000	4,884,000	4,764,000
学生会員	(25件+前年度前受金27件) × 2,000円	110,000	106,000	104,000
賛助会員	(70口+前年度前受金250口) × 10,000円	2,950,000	3,150,000	3,200,000
購読会員	11口 × 10,000円	100,000	90,000	110,000
書店経由購読会員	(前年度前受金1口) × 8,000円	0	8,000	8,000
事業収入		14,206,841	15,302,300	15,983,469
会誌販売収入	学会誌売上	92,880	100,000	38,880
会誌別刷収入	「加速器」Vol.13,No.1～No.4	294,441	500,000	651,029
会誌広告収入	「加速器」Vol.13,No.1～No.4	1,397,520	1,400,000	1,949,400
学術的会合収入	第13回年会	12,422,000	13,302,300	13,344,160
雑収入		2,835	800	13,049
受取利息		885	800	30
その他		1,950	0	13,019
その他		0	0	0
不明金		0	0	0
収入合計		22,061,676	23,541,100	24,182,518

会計幹事報告(3/9)



収支差額・剰余金

科目	細目	前期実績	当期予算案	当期実績
収支差額		450,794	-2,830,104	-1,828,836
前期繰越剰余金		9,242,158	9,692,952	9,692,952
次期繰越剰余金		9,692,952	6,862,848	7,864,116

2016年度貸借対照表

2017年3月31日現在

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】		【流動負債】	
現金および預金		前受金	
三菱東京UFJ銀行残高	5,030,261	正会員会費(649件×6000円)	3,894,000
郵便振替貯金残高	8,780,784	学生会員会費(22件×2000円)	44,000
みずほ銀行(年会用口座)残高	0	賛助会員会費(255口×10000円)	2,550,000
三菱東京UFJ銀行(行事)残高 <small>解約済み</small>	0	書店経由購読会員会費(1件×8000円)	8,000
手持ち現金残高	549,071		
		前期繰越剰余金	9,692,952
		当期収支差額	-1,828,836
合計	14,360,116	合計	14,360,116

会計幹事報告(4/9)



2016年度資産負債明細

2017年3月31日現在

資 産 の 部			
科 目	金 額	細 目	金 額
現金および預金	14,360,116	三菱東京UFJ銀行残高	5,030,261
		郵便振替貯金残高	8,780,784
		みずほ銀行(年会用口座)残高	0
		三菱東京UFJ銀行(行事)残高 解約済み	0
		手持ち現金残高	549,071
合計	14,360,116	合計	14,360,116

負 債 の 部			
科 目	金 額	細 目	金 額
会費前受金(3月31日現在入金分)	6,496,000	正会員会費(649件×6000円)	3,894,000
		学生会員会費(22件×2000円)	44,000
		賛助会員会費(255口×10000円)	2,550,000
		書店経由購読会員会費(1件×8000円)	8,000
		合計	6,496,000

剰 余 金 の 部			
科 目	金 額	細 目	金 額
前期繰越剰余金			9,692,952
当期収支差額			-1,828,836
合計			7,864,116

会計幹事報告(5/9)



剰余金処分計算書

前期繰越剰余金	9,692,952
当期収支差額	-1,828,836
次期繰越剰余金	7,864,116

2016年度決算監査結果

監査報告書

日本加速器学会の平成28年4月1日～平成29年3月31日の決算書について、
監査の結果、正確かつ適正であることを認めます。

平成29年7月3日
日本加速器学会

監事 新島 孝和 (印)

監査報告書

日本加速器学会の平成28年4月1日～平成29年3月31日の決算書について、
監査の結果、正確かつ適正であることを認めます。

平成29年7月3日
日本加速器学会

監事 小林 仁 (印)

会計幹事報告(6/9)

2017年度日本加速器学会予算案

2017年4月1日～2018年3月31日

収入の部

科 目	細 目	2017年度予算(A)	2016年度実績(B)	増減高(A-B)
会費収入		8,336,000	8,186,000	150,000
正会員	837名×6,000円	5,022,000	4,764,000	258,000
学生会員	38名×2,000円	76,000	104,000	-28,000
賛助会員	315口(58社)×10,000円	3,150,000	3,200,000	-50,000
購読会員	8口×10,000円	80,000	110,000	-30,000
書店経由購読会員	1口×8,000円	8,000	8,000	0
事業収入		15,022,500	15,983,469	-960,969
会誌販売収入	学会誌売上	30,000	38,880	-8,880
会誌別刷収入	「加速器」Vol.13,No.1～No.4	600,000	651,029	-51,029
会誌広告収入	「加速器」Vol.13,No.1～No.4	1,900,000	1,949,400	-49,400
学術的会合収入	第14回年会	12,492,500	13,344,160	-851,660
雑収入		30	13,049	-13,019
受取利息		30	30	0
その他		0	13,019	-13,019
その他		0	0	0
その他		0	0	0
収入合計		23,358,530	24,182,518	-823,988

会計幹事報告(7/9)

支出の部

科 目	細 目	2017年度予算(A)	2016年度実績(B)	増減高(A-B)
学会誌出版費		3,840,000	3,760,554	79,446
会誌発行費	印刷・原稿管理・校正・発送	3,700,000	3,626,094	73,906
別刷印刷費	別刷り印刷・発送	140,000	134,460	5,540
運営費		11,510,884	16,344,163	-4,833,279
学術的会合支出	第14回年会開催費(内事務局手数料155万円)	10,010,884	14,871,121	-4,860,237
学会賞費	賞状用紙等	100,000	7,992	92,008
会場費	会議室使用料	100,000	82,700	17,300
旅費	各委員会旅費	1,300,000	1,382,350	-82,350
事務業務費		5,556,000	5,531,237	24,763
定額業務委託費	54万×12ヶ月-年会分担分155万 会員管理、庶務、会計、バックナンバー保管 等	4,930,000	4,930,000	0
事務局出張費	臨時会議のみ	25,000	21,600	3,400
通信費	郵便・電話・サーバー使用料等 封筒印刷費	230,000	234,433	-4,433
備品費		10,000	4,696	5,304
事務用品費		10,000	0	10,000
消耗品費	コピー用紙、役員名刺代など	10,000	2,332	7,668
運送費	宅急便等	16,000	16,072	-72
事務局旅費	会議・打ち合わせ出席時の旅費実費	25,000	23,080	1,920
支払手数料	在庫処理料、契約料、収入印紙、弁護士相談料など	30,000	28,157	1,843
振込手数料	銀行振込、年会会期以外のカード決済、受取人払時の手数料	170,000	169,455	545
その他		1,685,000	375,400	1,309,600
過去報文集編集	PDF化の製本代	0	375,400	-375,400
加速器ハンドブック執筆料	2016年度より繰越	915,000	0	915,000
ホームページ更新	2016年度より繰越	200,000	0	200,000
年会特別講演撮影	撮影、編集、公開(2016年、2017年分)	570,000	0	570,000
その他		0	0	0
支出合計		22,591,884	26,011,354	-3,419,470

会計幹事報告(8/9)



収支差額・剰余金

科目	細目	2017年度予算(A)	2016年度実績(B)	増減高(A-B)
収支差額		766,646	-1,828,836	2,595,482
前期繰越剰余金		7,864,116	9,692,952	-1,828,836
次期繰越剰余金		8,630,762	7,864,116	766,646

学会の健全な運営・発展には、会員、賛助会員、広告、
企業展示などをさらに増やしていくことが必要です。

引き続き皆様のご協力をお願い申し上げます。

会計幹事報告(9/9)



第8期(2018年4月-2020年3月)監事の推薦と承認のお願い
* 細則第9条による

第6期、7期監事の小林仁先生、新富孝和先生の任期満了に伴い、
評議員会より第8期の監事として以下のお二人が推薦されました。

野田章先生(NIRS/QST)

大熊春夫先生(JASRI)

ご承認をお願いいたします。

庶務幹事報告(1/4)



2017年開催の会議等

会期等	行事名称	許可日	種類
1月24日(火)	理研シンポジウム「現場で使える理研小型中性子源 RANSの実用化に向けた挑戦—インフラ・ものづくり産業利用に向けた取り組み—」	2016年11月9日	協賛
1月26日(木)～27日(金)	放射線利用フォーラム2017 in 高崎 第1回QST高崎研シンポジウム	2016年12月20日	協賛
3月14日(火)～15日(土)	2016年度量子ビームサイエンスフェスタ	2016年11月22日	協賛
7月5日(水)～7日(金)	第54回アイソトープ・放射線研究発表会	2016年10月22日	協賛
8月17日(木)～19日(土)	第37回表面科学学術講演会 第58回真空に関する連合講演会	2017年1月16日	協賛
8月18日(金)～26日(土)	第11回大学生のための素粒子・原子核、 物質・生命スクール サマーチャレンジ	2017年1月31日	後援
8月29日(火)～9月1日(金)	第57回真空夏季大学	2017年5月18日	協賛
9月27日(水)～29日(金)	第60回放射線化学討論会	2017年6月20日	共催
10月22日(日)～26日(木)	The 8 th International Symposium on Surface Science (ISSS-8)	2017年2月16日	協賛
12月2日(金)～3日(土)	第17回日本中性子学会年会および市民講座	2017年3月21日	後援

庶務幹事報告(2/4)



会員数推移

調査日	正会員	賛助会員	購読会員 (直接契約)	購読会員 (書店経由)
2014年 3月1日	766名 (うち学生46名)	51社	11社	1社
2014年 7月20日	823名 (うち学生52名)	54社	11社	1社
2015年 3月1日	812名 (うち学生47名)	54社	10社	1社
2015年 7月20日	862名 (うち学生53名)	56社	10社	1社
2016年 3月1日	836名 (うち学生48名)	56社	9社	1社
2016年 7月20日	862名 (うち学生53名)	57社	9社	1社
2017年 3月1日	837名 (うち学生40名)	56社	8社	1社
2017年 8月1日	882名 (うち学生37名)	58社	8社	1社

庶務幹事報告(3/4)

定款・細則等の改訂について

1, これまでの経緯

- ・昨年(2016年)の年会にて以下の提案があり、審議を開始した。
 - ・学会の目的に社会への貢献を謳うべきである
 - ・学会の運営に関することは機動性が必要であり、評議員会で議決すべき。
 - ・規約には倫理に関する条項が欠けている。
- ・2016年9月: 規定等改定検討委員会を設置。(委員数20名)
- ・2016年11月: 委員会を開催して議論、その後メール審議により草案作成。
- ・2017年3月: 委員会は草案をまとめ、評議員会へ答申。
- ・2017年4月: 評議員会で審議し、修正案を採択。全会員へ提示。(期限は5月末)
- ・2017年6月: 評議員会が会員からのコメントを反映した修正案を作成し採択。
- ・2017年6月: 全会員に提案。(定款に従い1ヶ月間の提示)
- ・2017年8月2日: 総会にて採決

庶務幹事報告(4/4)

2, 裁定

1) 定款の主な変更点

- ・第2条の活動目的に社会貢献を加えた。
- ・第4条に、細則の変更は(会費の変更を除いて)評議員会が裁定することを明記。
- ・日付を和号に統一した。

2) 細則の主な変更点

- ・第7条に、会長選出にあたってその候補は所信を表明することを明記した。
- ・第19条に会員の名簿の扱いを規定した。開示が必要な場合は理由を添えて事務局へ申し込む。事務局は該当会員の許可を得た上で開示することができる。事務局の業務に関わる場合はその例外とする。
- ・細則の変更は、定員の2/3以上が出席する評議員会の過半数の賛成で決議する。細則の変更は総会と学会誌で報告されること。

3) 倫理綱領について

- ・倫理は定款・細則とは別に倫理綱領として規定する。
- ・6つの条項および付記(評議員会の審議・裁定)から成る。
(学問・社会への貢献、法令の遵守、私利私欲を排除、知的財産の保護、誹謗中傷の禁止、学会発表や刊行での不正の禁止)
- ・軍事関連については議論が未熟として、今回には含まない。